

## 1 形原地区支線バスの利用実績の推移

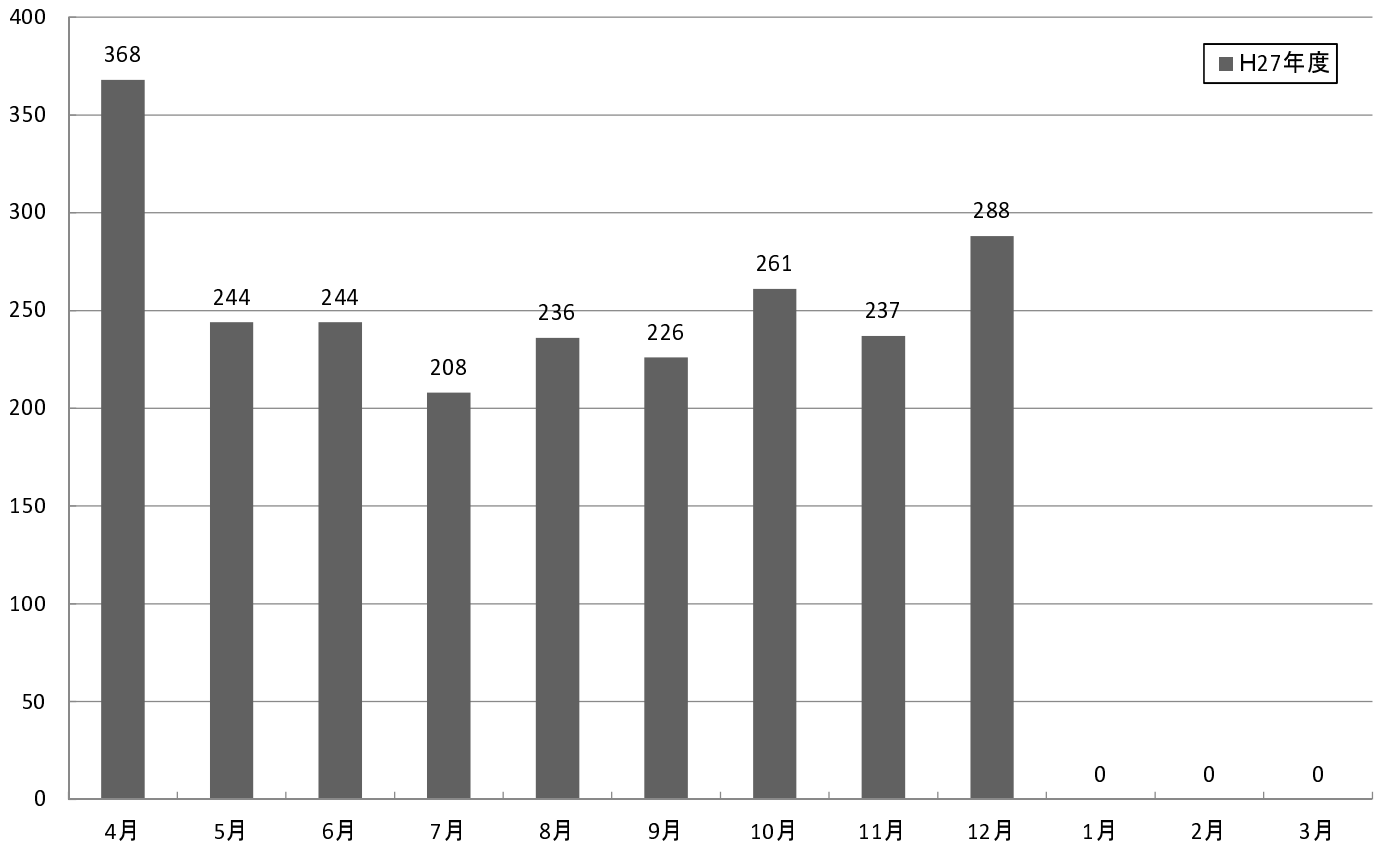
※平成27年12月末現在

	運行日数	左廻り1便	右廻り1便	左廻り2便	右廻り2便	左廻り3便	右廻り3便	小計		総計	一便当たりの乗車人数 (人/便)	
								小学生	大人			
H27	4月	13	55	71	66	59	58	59	8	360	368	4.7
	5月	13	18	43	51	54	42	36	0	244	244	3.1
	6月	13	22	50	52	52	41	27	0	244	244	3.1
	7月	13	26	40	36	41	39	26	3	205	208	2.7
	8月	13	24	44	50	59	34	25	2	234	236	3.0
	9月	13	22	33	45	68	47	11	3	223	226	2.9
	10月	14	20	35	49	73	62	22	5	256	261	3.1
	11月	12	10	31	48	71	46	31	8	229	237	3.3
	12月	13	11	45	51	84	66	31	1	287	288	3.7
H28	1月											
	2月											
	3月											

	運行日数	左廻り1便	右廻り1便	左廻り2便	右廻り2便	左廻り3便	右廻り3便	小計		総計	一便当たりの乗車人数 (人/便)
								小学生	大人		
H27年度合計	117	208	392	448	561	435	268	30	2282	2312	3.3

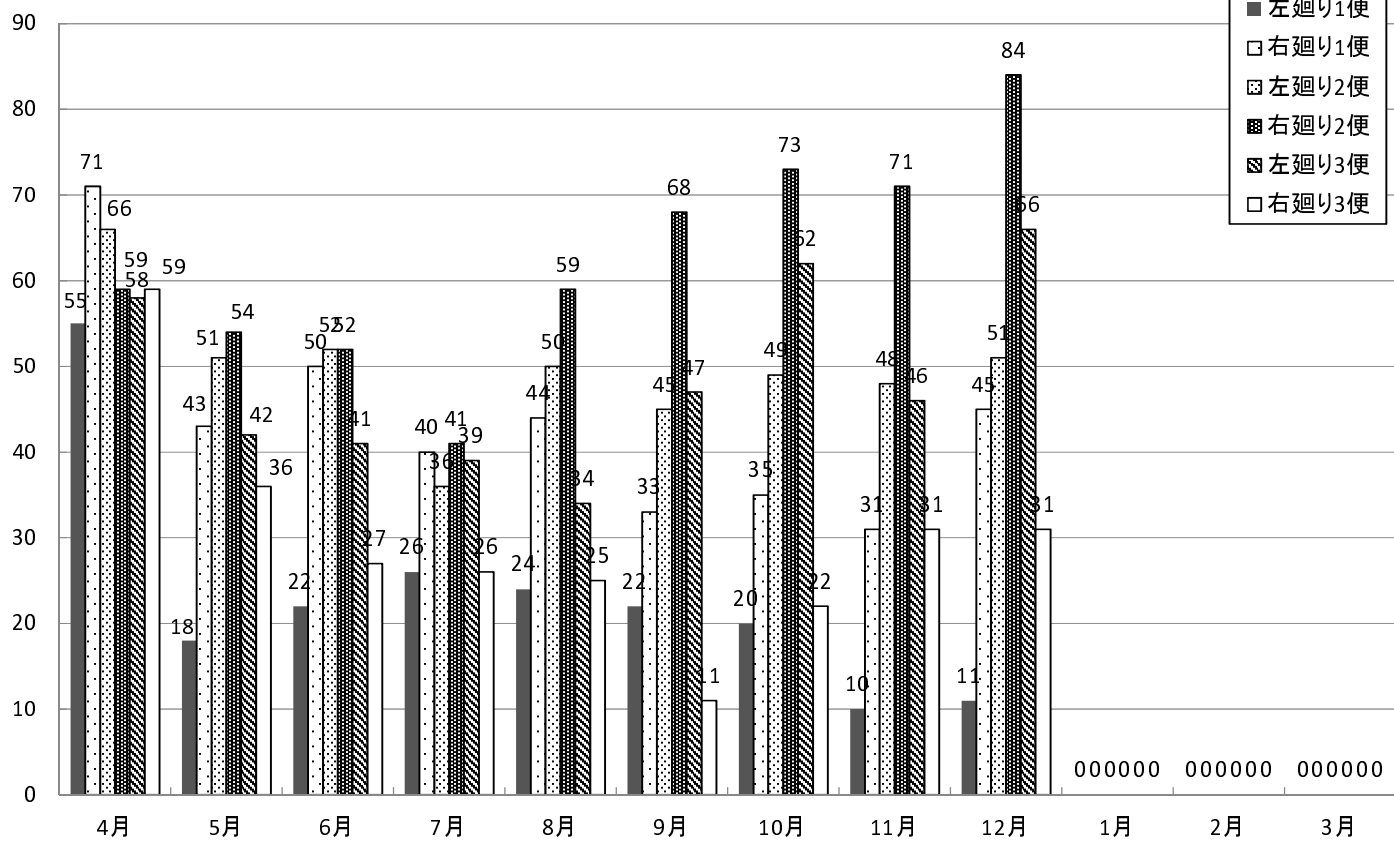
単位:人

### 利用者数の推移



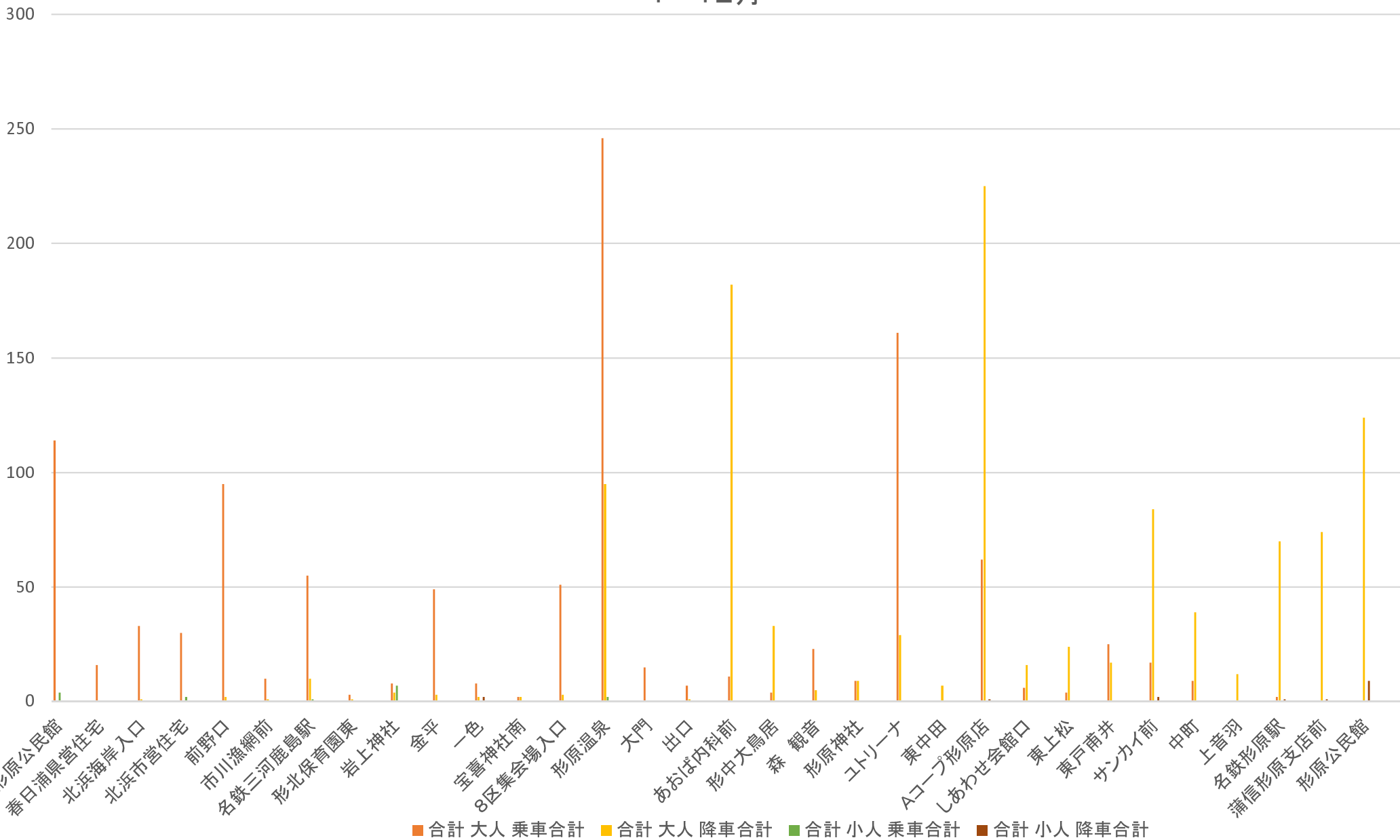
単位:人

### 便単位の利用者数の推移

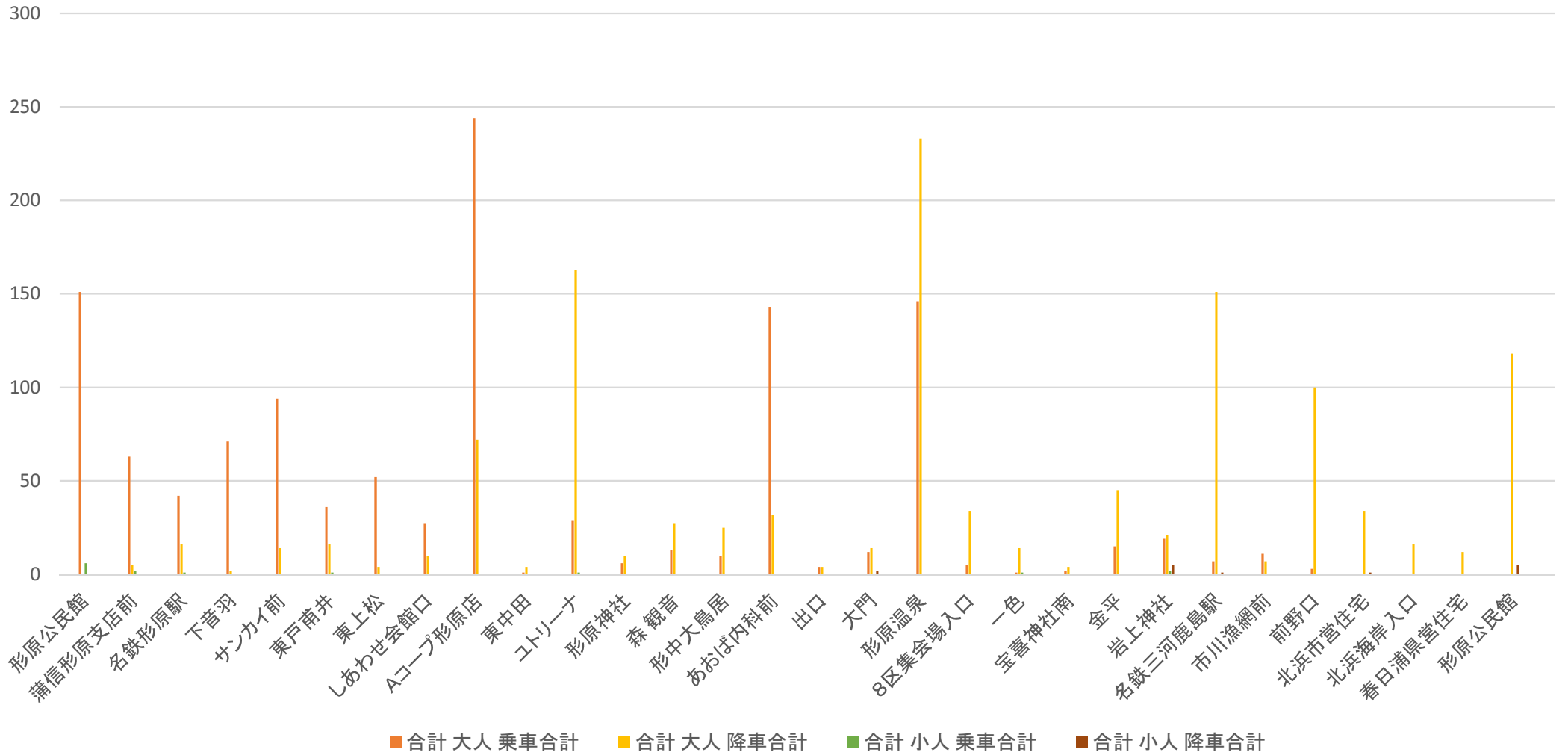




# 停留所別乗降者数(左回り) 4～12月



## 停留所別上降車数(右回り) 4～12月



# 地域で育てる みんなの足

高齢化が進む中、公共交通はみんなの足として不可欠なもの。形原地区では交通空白地の問題や鉄道の存続問題などを地域の課題として、「子どもや高齢者らが安心して移動すること」ができ、「地域で創り、守り、育てあげる」公共交通体系の構築に向け、住民主体で取り組んでいます。

目標 1日20人	月別 利用者数 (人)		
	小学生	大人	総数
4月	8	360	368
5月	0	244	244
6月	0	244	244
7月	3	205	208
8月	2	234	236
9月	3	223	226
10月	5	256	261

平成27年4月から形原地域をモデル地区とした支線バス「あじさいくるりんバス」が運行開始し9カ月がたちました。地域を支え、地域の方に支えられて運行をしています。

利用者数  
1日平均利用者 約19.2人  
1便平均 3.2人



## あじさいくるりんバス

### 利用者の声

車がない人は本当に助かっている。なくては困る。

スーパー銭湯に行くのにも乗っているよ。三河鹿島駅で降りて、裏道を歩くと意外と近いんです。

形原温泉にいけるようになったのはありがたい。路線バスは形原温泉行きがなくなってしまったから。

職場の前にバス停があるので仕事に行くのに利用してます。普段は自転車ですが、出勤日とバス運行日があれば利用しています。

「あおば内科前」はスーパー、ドラッグストア、銀行などが集まっているので買い物に便利です。

くるりんバスとタクシーチケットを行き先や都合によって使い分けてます。行きはバス、帰りの時間が合わなかったらタクシーとか。

交通防犯課 ☎ 66-1156



## 形原地区公共交通協議会が エコモビリティライフ推進表彰を 受けました！

車と電車やバス、自転車、徒歩を使い分けて環境にやさしい交通手段を利用する「エコモビリティライフ」。支線バスの導入・利用促進について、地域主体で取り組み、地元の方や高齢者が使いやすくルートやダイヤを工夫したことが評価されました。



天野忠則会長 壁谷権一朗事務局長

お持ちですか？

ポケット版時刻表  
くるりんバス便利帳



目的の場所へはどのバス停で降りて、徒歩で何分かかるかがすぐ分かる便利帳。事務局長を務める壁谷権一朗さんが、62カ所すべての場所を、3日かけて実際に歩いて計測しました。

「始めはバス停を基準に便利帳を作ろうとしていたけど、長寿会の意見を聞いて目的地を中心に作り直しました。バスの運行には長寿会や民生委員と意見交換をして、一番利用するだろう人たちに使いやすくなるように考えました」と壁谷さん。

形原公民館に意見箱が設置されているので、皆さんもご意見をお寄せください。

くるりん名物

運転手 かね一タクシー

中田繁二さん



くるりんバスの運転手は中田さんが専属で任されています。元タクシー運転手。常連さんは

くるりんバスが走っている週3日は必ずこれに乗ってユトリーナへ行っています。



誰がどこまでか覚えてるし、「形原駅は時間ぎりぎり着いてしまうと、線路を渡らなければいけない蒲郡方面に乗れなくなってしまうから余裕を持って」など、ルートの中で時間調整もなんのその。

「形原の街を走っている姿を見かけたとき「こんなものもあるんだなあ」と興味を持ったら1回乗ってもらえたらいい。そして乗った人は「私も乗ってるよ」と言ってくれば宣伝になる。乗ったらお得だと思うよ。ほかの地域でも活性化の形として広がってほしい」

「高齢化が進めば、なんらかの形でこういうものは必要になる。自分たちの街をつくるという意識でやっている」と話すのは、形原地区公共交通協議会会長の天野忠則さん。協議会には歴代総代も加え、住民への説明はまず自分たちで行いました。

くるりんバスの効果は、交通空白地の解消だけではありません。「バス自体がコミュニケーションの場になる。家にこもるくらいなら、健康のためにもバスを利用して出歩いてほしい」

天野さんは、市民まるごと赤い電車応援団の団長も務めています。「5年間の運行継続が基本的に合意された。両市の市民の皆さんの利用促進活動の結果であり、感謝申し上げます。子どもたちが将来利用していただけるように活動していく」と、11月29日に行われた名鉄利用促進大会で語りました。

乗って育てよう！支線バス  
乗って残そう！赤い電車



# 名鉄西尾・蒲郡線

## 中学1年生が高校卒業するまで継続

10月に行われた名鉄西尾・蒲郡線対策協議会総会において、平成28年度から32年度までの5年間の運行継続に向けた基本合意を行いました。現在、中学1年生が、高校を卒業するまでは存続が決まったこととなります。

企画政策課 ☎66・1162

### 学生の声 利用促進大会



西浦中学校3年 汐田晴紀君  
来年から高校生。時間どおりに動く電車は通学に欠かせません。名鉄で観光に行くであろう家族の姿を見てうれしくなりました。沿線観光地を生かして、観光路線としてかがやいてほしい。



三谷水産高校3年 増田直斗君  
西尾市一色町に住んでいて、高校を決めるとき、モノづくりに興味があり三谷水産高校へ。充実した学校生活を支えてくれたのが名鉄。すばらしい景色が活力を与えてくれた。夢を追う学生に不可欠なものです。

参加者に、赤電応援団ピンバッジプレゼント！

## 赤い電車に乗って 鳥羽の火祭りへ行かまい！

「鳥羽の火祭り」の起源は約1200年前。「ネコ」と呼ばれる奉仕者が、燃え盛る高さ5メートルの巨大な松明「すずみ」に飛び込んで「神木」と「十二縄」を競い取り出し、その年の天候や豊作不作を占います。燃え残った竹で作った箸で食事をすると歯の病にかからないと伝えられています。

- とき 2月14日(日)
- ところ 鳥羽神明社(三河鳥羽駅徒歩10分)
- 集合場所 三河鳥羽駅前  
※鳥羽神明社で自由解散
- 集合時間 午後6時40分
- 参加費 無料 ※交通費は各自負担
- 申し込み 1月18日(月)までにハガキ、ファクスで郵便番号・住所・氏名・電話番号を企画政策課(〒443-8601 FAX66◆1190)へ。参加者には、案内ハガキを送付します

乗車：名鉄蒲郡駅発 午後6時11分  
降車：三河鳥羽駅